

## 学校再編の目的について

### 1. 学校再編の目的

#### ①教育環境の公平性（教育の機会均等）

現在の学校規模の地域格差を是正し、児童生徒が等しく教育を受けられる環境づくりに努める。

#### ②教育施設の充実

現在の学校 20 校をすべて残しつつ、施設の維持・更新を実施していくと仮定した場合、年間約 9 億円の費用が掛かると試算されている。（基本方針 P.10）

財政規模が縮小していく中、統廃合により多くの統合校は既存の学校を有効利用するが、新設校も含めた計画的な整備を実施し、教育施設の充実を維持していく。

### 2. (仮称)北統合中学校のメリット・デメリット（一例）

#### ①メリット

- ・生徒数の地域格差がある程度解消できる
- ・千漉中側は小規模校におけるデメリットが解消される※<sup>1</sup>
- ・二中側は大規模校におけるデメリットが解消される※<sup>2</sup>
- ・新設校舎による最新の施設・設備での学習が可能
- ・新たな場所のため各学区の生徒が平等にスタートできる

#### ②デメリット

- ・多額の費用を要する
- ・開校までに時間がかかる
- ・新たに通学路を設定するため周辺環境の整備が必要

#### ※1 小規模校のデメリット解消例

- ・集団の中で社会性や協調性、たくましが身につく。
- ・多様な意見や考え方に触れ、多様性が身につく。
- ・体育の球技や音楽の合唱のような集団学習の効果が上がる。
- ・運動会や修学旅行等の集団活動に活気が生じる。
- ・班活動やグループ分けのパターンが増える。
- ・部活動の選択肢が増える。

#### ※2 大規模校のデメリット解消例

- ・生徒一人ひとりに目が届きやすくなる。
- ・学校行事や部活動等で一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすくなる。
- ・学年内・異学年間の交流が生まれやすくなる。
- ・施設、設備の利用時間等の調整が行いやすくなる。

## 生徒数の推計について

## 第二中学校（琴田小・共和小学区）

	2025 R07	2026 R8	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	59	68	49	53	50	55	50	65	54	63	48	51	50
2年生	66	59	68	49	53	50	55	50	65	54	63	48	51
3年生	75	66	59	68	49	53	50	55	50	65	54	63	48
合計	200	193	176	170	152	158	155	170	169	182	165	162	149

## 干潟中学校

	2025 R07	2026 R8	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	49	35	44	42	40	32	31	26	20	29	20	15	18
2年生	50	49	35	44	42	40	32	31	26	20	29	20	15
3年生	43	50	49	35	44	42	40	32	31	26	20	29	20
合計	142	134	128	121	126	114	103	89	77	75	69	64	53

## 2校合計（北統合中）

	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68	66	68
2年生	116	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68	66
3年生	118	116	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68
合計	342	327	304	291	278	272	258	259	246	257	234	226	202

学級数 12 11 10 9 9 9 9 9 9 9 9 8 7 6

※R7.5月時点の小学校1年～6年の児童数及び住民基本台帳の6歳～1歳の人数を基に異動がないと仮定して推計

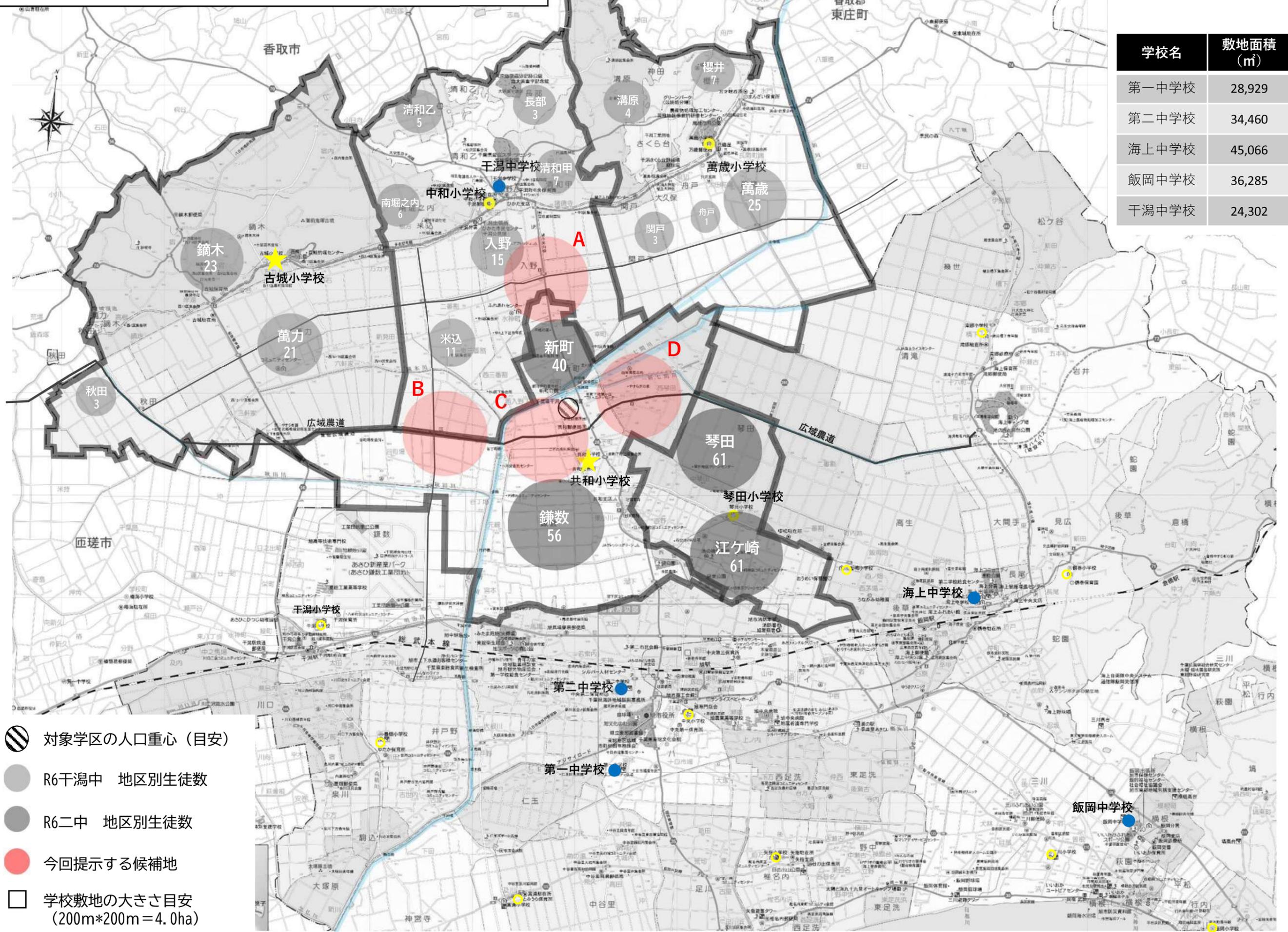
※学級数は一学級35人として計算

## 【参考】

南統合中	2025 R07	2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	240	218	240	218	229	231	184	189	187	188	164	175	146
2年生	205	240	218	240	218	229	231	184	189	187	188	164	175
3年生	231	205	240	218	240	218	229	231	184	189	187	188	164
合計	676	663	698	676	687	678	644	604	560	564	539	527	485

学級数 20 20 21 21 21 21 20 19 18 18 17 16 15

# (仮称) 北統合中学校の建設場所の検討



学校名	敷地面積 (m <sup>2</sup> )
第一中学校	28,929
第二中学校	34,460
海上中学校	45,066
飯岡中学校	36,285
千潟中学校	24,302

-  対象学区の人口重心 (目安)
-  R6千潟中 地区別生徒数
-  R6二中 地区別生徒数
-  今回提示する候補地
-  学校敷地の大きさ目安 (200m\*200m=4.0ha)

(仮称)北統合中学校の候補地比較表

	A	B	C	D
候補地	入野ローソン交差点付近	谷丁場交差点付近	広域農道(新川~新町交差点)	広域農道(新町交差点~西琴田)
航空写真				
1. 立地・地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区の中心近くに位置する</li> </ul> <p>【直線距離(目安)】                      中和小1km 萬歳小2.3km 古城小3.4km                      琴田小3.6km 共和小2.3km</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区のやや西側に位置する</li> </ul> <p>【直線距離(目安)】                      中和小2.7km 萬歳小4.5km 古城小2.7km                      琴田小3.5km 共和小1.7km</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区のやや南側に位置する</li> <li>・人口重心に近い</li> </ul> <p>【直線距離(目安)】                      中和小3.0km 萬歳小4.1km 古城小3.9km                      琴田小2.3km 共和小0.6km</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区のやや東側に位置する</li> <li>・人口重心に近い</li> </ul> <p>【直線距離(目安)】                      中和小2.7km 萬歳小2.8km 古城小4.5km                      琴田小2.0km 共和小1.0km</p>
2. 周辺環境	大部分が水田であり、エリア南側の県道を中心に住宅が広がる ・周辺道路 県道旭小見川線 市道1-031号線(第2広域農道) ・新川~エリア中心まで約1.3km ・近隣公共施設:ふれあいセンター	大部分が水田であり、エリア南側の広域農道沿いに住宅が点在している ・周辺道路 市道1-033号線(広域農道) 市道1-004・1-061号線(谷丁場遊正線) ・新川~エリア中心まで約0.8km ・近隣公共施設:なし	エリアの西側は新川があり、水田が広がっている。東側は県道沿いに住宅地が広がっている ・周辺道路 県道旭小見川線 市道1-033号線(広域農道) ・新川~エリア中心まで約0.8km ・近隣公共施設:共和小学校、共和保育所	エリアの西側は県道沿いに住宅地が広がっている。東側は水田が広がっている。また、北側に河川が東西に流れている ・周辺道路 県道旭小見川線 市道1-033号線(広域農道) ・新川(新七間川)~エリア中心まで約0.3km ・近隣公共施設:なし
3. 土地利用制限	農業振興地域 浸水想定区域(0.5~3.0m未満)	農業振興地域 浸水想定区域(0.5~3.0m未満)	農業振興地域 浸水想定区域(0.5~3.0m未満)	農業振興地域 浸水想定区域(0.5~3.0m未満)
4. 財源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金(1/2)</li> <li>・過疎債(干潟地域)</li> <li>・その他起債</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金(1/2)</li> <li>・過疎債(干潟地域)</li> <li>・その他起債</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金(1/2)</li> <li>・過疎債(充当率:干潟中の生徒数案分)</li> </ul> <p>【参考】R7生徒数 干潟中142人/全体342人=約41%                      ※実際は、開校時の生徒数で計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他起債</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金(1/2)</li> <li>・過疎債(充当率:干潟中の生徒数案分)</li> </ul> <p>【参考】R7生徒数 干潟中142人/全体342人=約41%                      ※実際は、開校時の生徒数で計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他起債</li> </ul>
5. 土地の拡張性	拡張性:高 ※水田が連続的に広がっている	拡張性:高 ※水田が連続的に広がっている	拡張性:中 ※水田が連続的に広がっているエリアがある	拡張性:中 北側に河川、東側は大型ハウス・住宅が点在している